

科目名称	作業療法概論
授業コード	AE102
英語名称	Occupational Therapy Theory
学期	2024年度前期
単位	1.0
担当教員	船山 朋子
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	作業を使った治療は紀元前から行われていたとされています。作業療法の歴史と現状から、作業療法における自然科学や人文・社会科学側面を理解し、変化し続ける社会に併せ最新の知識・技術をもって実施される作業療法の基盤となる概念について学びます。作業療法の対象者および作業療法士の社会的役割を理解し、対象者の基本的人権を擁護しながら、高い倫理観をもって実践に臨む必要性を学びます。
科目に関連する実務経験と授業への活用	作業療法士を目指すうえで必要な作業療法の内容・定義、関連法規、倫理などの概要を、作業療法士としての臨床経験のある教員が講義します。
到達目標	カリキュラム・ポリシーに掲げる「人体の構造と機能及び心身の発達、疾病・障害の成り立ちと回復過程および保健医療福祉とリハビリテーションの理解などから作業療法の基礎知識を学」を実現するために以下の知識と能力を身につけることが目標です。 <ul style="list-style-type: none"> ・作業・健康・環境の関係について概説できる。 ・法制度上の作業療法士の定義と活動内容を概説できる。 ・社会における作業療法の位置づけと役割を概説できる。 ・作業療法プロセスおよび作業療法士が活躍する領域と病期を概説できる。 ・作業療法に関連する人権問題と倫理について概説できる。 ・関連法規、コンプライアンス・法令違反について概説できる。
計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> 1) 作業療法およびリハビリテーション 2) 作業療法における人権 3) 人の生活と作業 4) 社会の構造と医療保健福祉制度 5) 障害者の自立と生活 6) 作業療法の対象領域 7) 作業療法の歴史と理論 8) 作業療法の実際：急性期、回復期、維持期 9) 作業療法の実際：在宅、福祉施設、介護予防 10) 作業療法業務の管理・運営、関連法規 11) 作業療法プロセスと記録 12) 作業療法における評価の意義 13) 求められる作業療法士の役割 14) 世界の作業療法 15) まとめ
授業の進め方	<ol style="list-style-type: none"> 1) 教科書・配布資料を使用し講義を行います。 2) 作業療法について理解を深めるために適宜課題を指示します。
能動的な学びの実施	各項目の練習問題に解説を行い理解度の振り返りを行います。

授業時間外の学修	<p>作業療法や医療福祉の範囲にとどまらず、広く自然科学や人文・社会科学等に関して自ら積極的に学び、作業療法の本質や作業療法士に必要な資質を学際的アプローチの視点も含めて理解・修得して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予習：教科書の該当ページを読み、「この講義を理解するために」を実施する。不明な点をまとめる。30時間 ・復習を行う：授業内容をまとめる。教科書該当ページの「講義を終えて確認すること」を実施する。興味を持った内容について専門教員に質問をする。30時間 <p>予習復習合計60時間</p>
教科書・参考書	<p>【教科書】15レクチャーシリーズ 作業療法テキスト 作業療法概論： 中山書店</p> <p>【参考書】OT評価ポケット手帳： ヒューマンプレス</p>
成績評価方法と基準	試験50%、課題50%
課題等に対するフィードバック	練習問題やディスカッション内容に関してコメントを返します。
オフィスアワー	CampusSquare を参照
留意事項	「リハビリテーション概論」「倫理学B」「哲学」を履修することが望ましい。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	<p>授業の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・zoomによるオンライン、オンデマンド、課題学修を組み合わせ実施します。 <p>成績評価方法と基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中2回の課題（50%+50%）で評価します。